

## この指と一まれ（第6号）

平成26年（2014年）5月12日  
大中里保育園 園長 塩川恵美子

### トイレはいつもきれいに（私が私でいられる場所・・・）

これから少し難しい名前も出てきますが、トイレのお話です。  
なんだか物知りのように気持ちがいいのである雑誌の受け売りですが、そのままを少し記します。

曹洞宗を始めたのは鎌倉時代の道元禅師だそうです。その道元には「正法眼蔵」という著書があって「洗淨」の巻に「両辺を汚すことなかれ」という言葉が出てきます。（くるそうです。）両辺とは便器の両側の事でこれはつまり **トイレを汚すな** ということです。

他には誰もいない自分一人の場所 手を抜くこともできるけど、ほかに誰もいないからこそ自分と向き合う場ともいえる。

トイレは毎日お世話になるところ。そのトイレを汚すなという当たり前のことを日頃から具体的にやっていくことが大事であると【相田みつおさん】が語っておられたと。私も相田さんのお考えに賛同して「この指と一まった！！」。

公立の保育園から民営化して9年目の大中里保育園が最初に手掛けたのが トイレの改修でした。それは誰でも毎日何回も使う場所だからきれいで清潔で気持ちのいい場所にしておきたかったからです。お客様がうちに来られるという日 私の仕事 おもてなしは料理やお茶より先にトイレの掃除。いつ誰が使うかもわからない・・・でも必ず使うはず。トイレは一番自分が自分でいられる場所だから安心して気持ちのいい場所にしておきたいのです。

道元禅師に少しだけ通じていたのかなと思うと自信を持って「わが意を得たり」気分でもうトイレを大切に考えていきたいと思うのです。

大中里保育園のトイレは職員の日頃の手入れによって改修当時とあまり変わりなく匂いも汚れもなく清潔感あふれています。それは私の自慢です。

が時の流れとやはり限界もあり8年目にして専門家にトイレ掃除を依頼しました。さすがに専門家です。見違えるほどきれいになりました。どうぞトイレ見学？トイレ使用にお立ち寄りください。

これからいい季節になりあちこちお出かけも多いことでしょう。

大げさに言えばトイレでその楽しさが倍増もするし 逆にトイレでがっくり不愉快になることもある。大中里保育園では子どもたちにトイレの使い方を教える前にトイレの気持ちよさをしっかり感じてもらいたいと思っています。

「保育園の思い出は？」と聞かれたら「大中里保育園のトイレは私の大好きな居場所だった」子どもたちにそうしてもらえたら嬉しい。

そうそうトイレには神様がいて私は心から信じています。小さい頃母がよくいっていました。

「トイレをきれいにするときれいな子どもが生まれるんだよ。」って。そういえば一時トイレの神様って歌がよく聞かれましたよね。

♪・・・それはそれはキレイな女神様がいて だから毎日キレイにしたら女神様みたいにべっぴんさんになれるんやで♪ ...その日からべっぴんさんに絶対なりたくて毎日磨いてた♪

私もそう思っていたのに・・・。いまだにべっぴんさんになれなくて毎日おうちのトイレを磨いています。いつか絶対にべっぴんさんになれると信じて今日もせっせとトイレ掃除をしてから仕事に出かけます。トイレは一番私が私でいられる場所 安心できる場所 ね——そんな場所にしませんか？？

